

PCR検査検体を採取していただく際のお願い(注意事項)

1 検体を採取していただく際のご留意事項

➤ 咽頭ぬぐい液

- 採取した綿棒を空の滅菌スピツツにそのまま入れてください。
- 綿棒の柄の部分を折りスピツツの蓋をしっかりと閉めてください。
- 乾燥しないように、スピツツの蓋の周囲をテープなどで巻いてください。

注1) 培地入りスピツツを使用する際は、ウィルス検査用スピツツに入れ、
細菌検査用スピツツには入れないでください。
スピツツは長さ13cm以内のものを使用してください。



柄を折りたたみ、
培地の中に入れる

➤ 血液

- 抗凝固剤 (EDTA又はクエン酸) 入りの採血管に全血 (2mL以上)採取してください。

注2) ハeparin入り採血管は使用しないでください。

注3) 血清分離剤入りの採血管は使用しないでください。



※ 麻しん・風しんの検査診断にあたっては、血清学的診断も重要となります。

お手数ですが、貴院からIgM抗体検査を民間検査機関等に依頼いただき、
結果が判明しましたら区福祉保健センターに情報提供をお願いいたします。

(横浜市衛生研究所では、PCR検査のみの実施となります)

EDTA又は
クエン酸入り

➤ 尿

- 貴院所有の滅菌スピツツ (長さ13cm以内) に、10~15mL程度採取してください。

検体が漏れ出ないよう、
スクリューキャップ容器を使用



2 検体の受領について

- 回収に伺うまで、検体は冷蔵 (4°C)で保存をお願いいたします。
- 検体を採取したら、区福祉保健センターに御連絡をお願いいたします。

3 その他

- 大変申し訳ありませんが、スピツツや綿棒などは御提供ください。